

『地域で暮らす場』に関するアンケート 結果報告

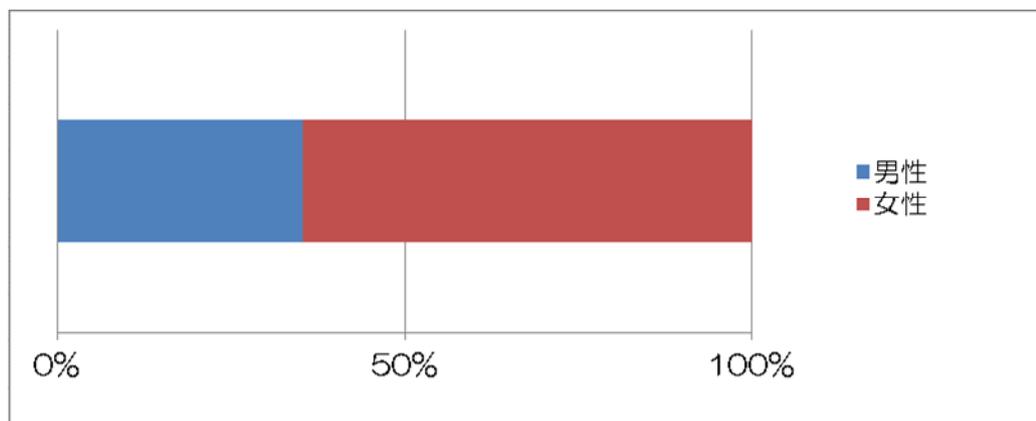
平成 24 年 7 月 21 日に、地域で暮らす場をテーマとして、祥雲館カフェが開催されました。祥雲館カフェの参加者から派生して誕生した高齢者住宅開発プロジェクトのメンバーが中心となって語ろう会が進められました。地域で暮らし続ける事の難しさを探るとともに、町外にある実際の高齢者住宅の情報も交えて、多くの議論がなされました。また、「地域で暮らす場」について考える輪を広げるために、本プロジェクトでは、このアンケートを企画し実施する運びとなりました。実施されたアンケートの集計結果を報告いたします。

1. 回答者 基本データ

①アンケート用紙（別紙①参照）

②アンケート回答総数

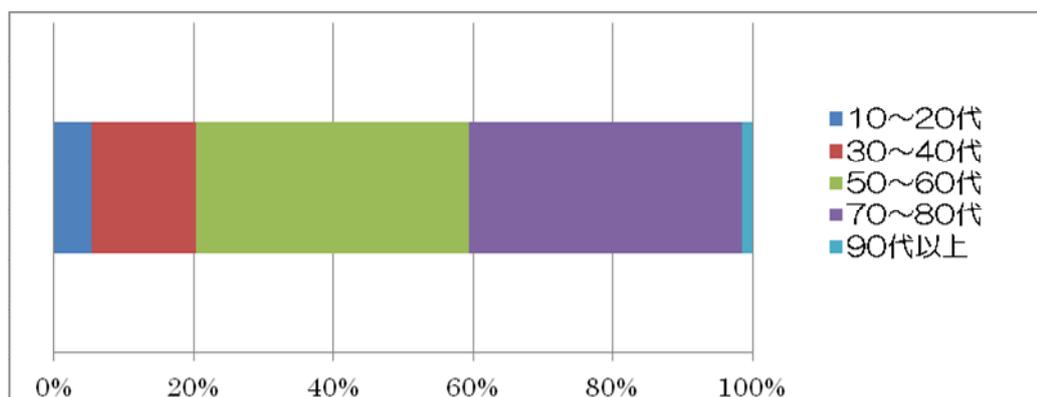
男性	165
女性	301
無回答	7
合計（総数）	473



※有効回答からグラフを作成

③回答者 年代層

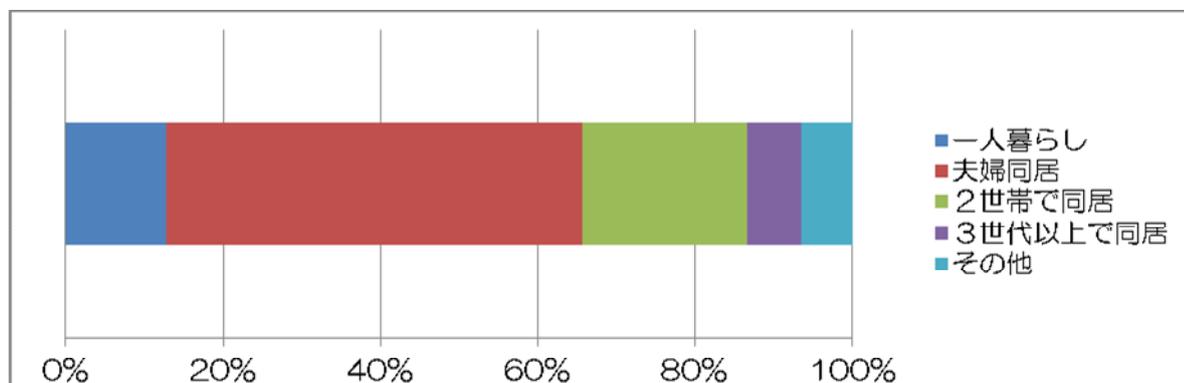
10～20代	5.3%
30～40代	14.8%
50～60代	38.9%
70～80代	38.9%
90代以上	1.5%
無回答	0.6%



※有効回答からグラフを作成

④回答者 家族構成

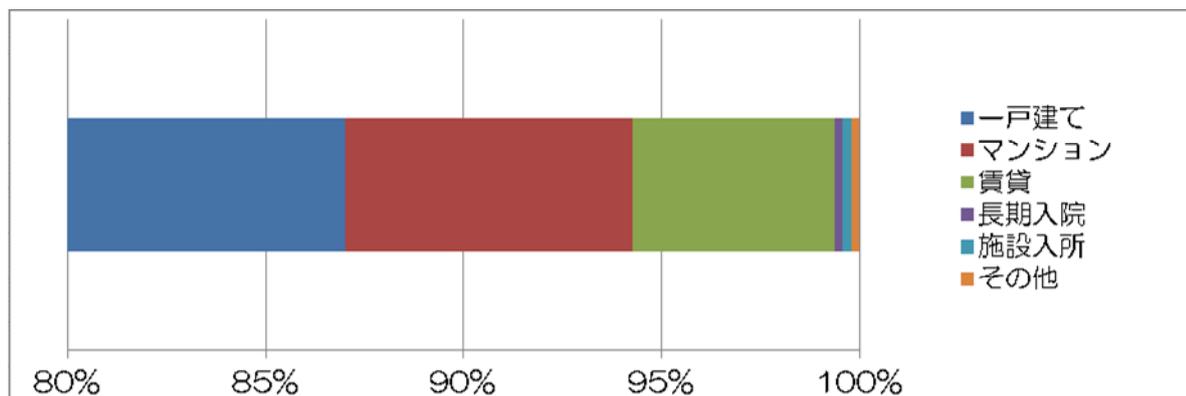
一人暮らし	12.5%
夫婦同居	51.6%
2世帯で同居	20.3%
3世代以上で同居	6.8%
その他	6.3%
無回答	2.5%



※有効回答からグラフを作成

⑤回答者 住居形態

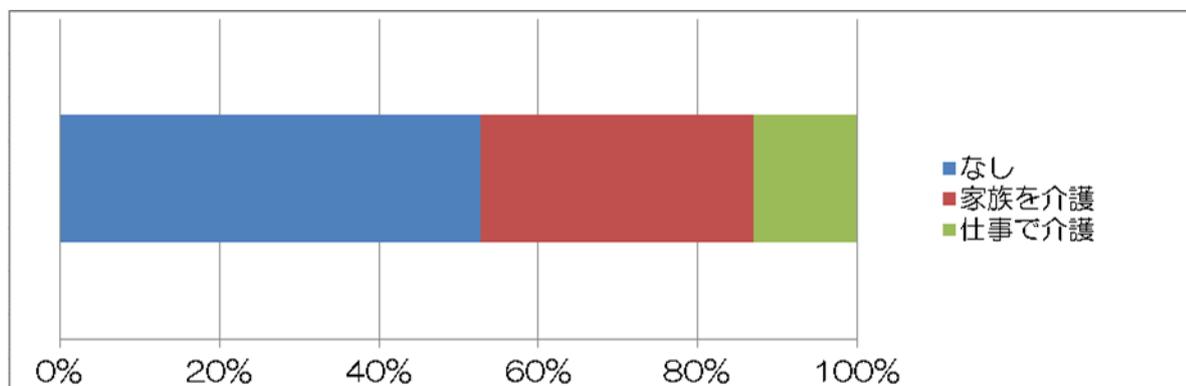
一戸建て	86.5%
マンション	7.2%
賃貸	5.1%
長期入院	0.2%
施設入所	0.2%
その他	0.2%
無回答	0.6%



※有効回答からグラフを作成

⑥回答者 介護経験

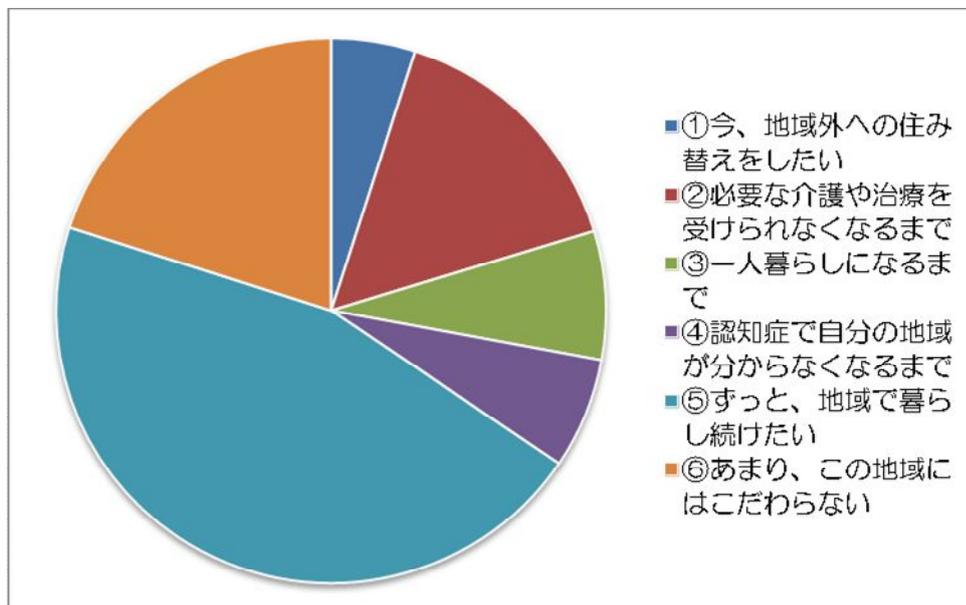
なし	51.0%
家族の介護経験あり	33.2%
仕事で介護経験あり	12.5%
家族・仕事とも介護経験あり	2.5%
無回答	0.8%



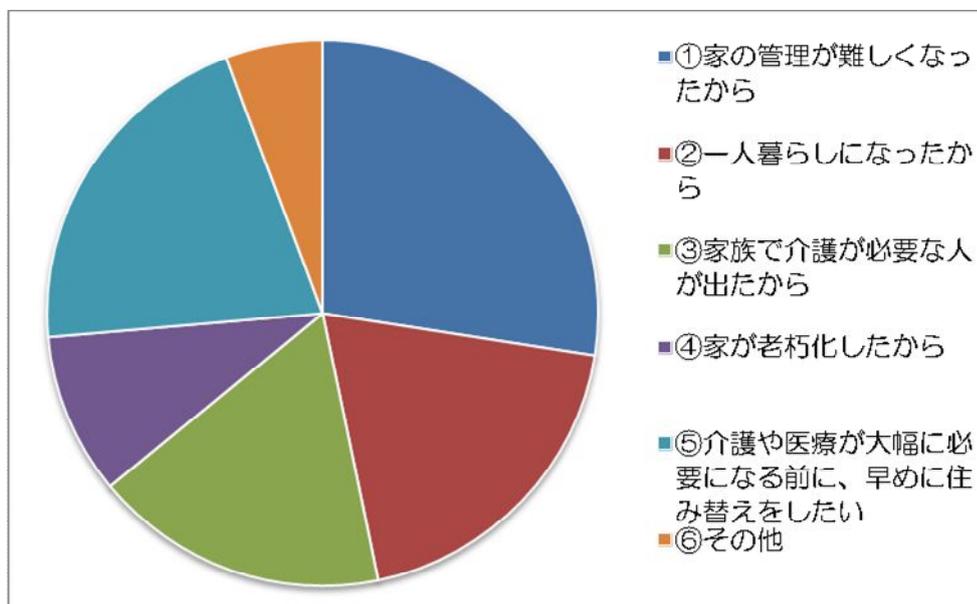
※有効回答からグラフを作成

2. 基本集計結果

設問1 あなたは、現在お住まいの地域で暮らし続ける事をいつまで望みますか？
(いずれかに○を付けて下さい。)



設問2 自宅から地域の高齢者住宅へ移り住むなら、どのような理由が考えられますか？
(複数回答可)



設問3 もし、高齢者住宅で暮らすとすれば、どのようなことを求めますか？

下記の番号から選択して、優先順位を付けて下さい。

- | | |
|--------------------|----------------|
| ①日用品の買い物をできる場所が近い | ②介護サービスの事業所が近い |
| ③家事をしなくて済む環境 | ④常に自然が感じられる環境 |
| ⑤かかりつけの病院が近い | ⑥バス停や電車の駅が近い |
| ⑦人通りを感じられる環境（住宅地等） | ⑧住む部屋が充実している |
| ⑨その他（ | ） |

全体

1位	①日用品の買い物をできる場所が近い	1355ポイント
2位	⑤かかりつけの病院が近い	1188ポイント
3位	⑧住む部屋が充実している	882ポイント

男性

1位	⑤かかりつけの病院が近い	418ポイント
2位	①日用品の買い物をできる場所が近い	356ポイント
3位	③家事をしなくて済む環境	321ポイント

女性

1位	①日用品の買い物をできる場所が近い	999ポイント
2位	⑤かかりつけの病院が近い	770ポイント
3位	⑧住む部屋が充実している	562ポイント

10～60歳代

1位	①日用品の買い物をできる場所が近い	871ポイント
2位	⑤かかりつけの病院が近い	726ポイント
3位	⑧住む部屋が充実している	615ポイント

70歳代以上

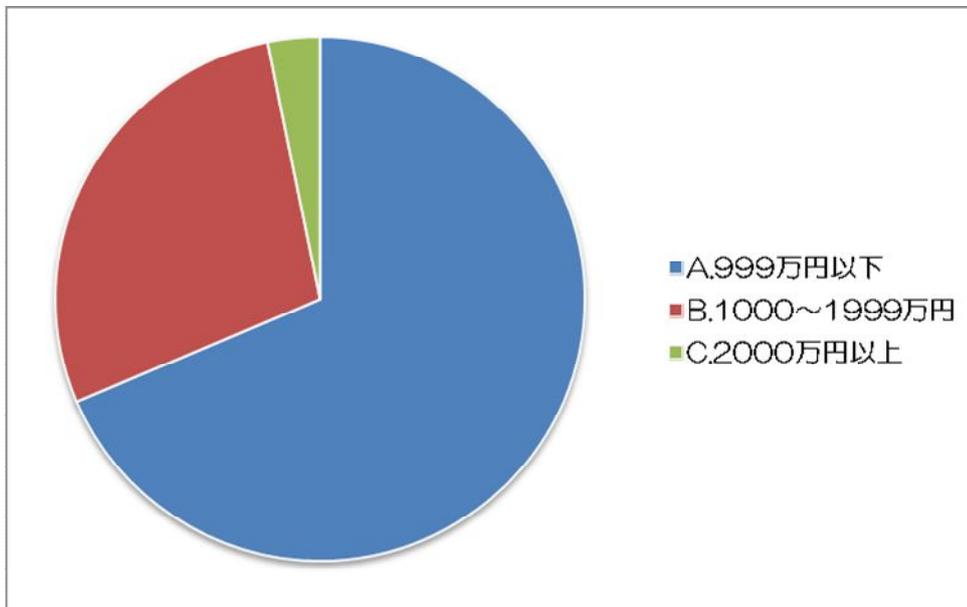
1位	①日用品の買い物をできる場所が近い	484ポイント
2位	⑤かかりつけの病院が近い	462ポイント
3位	②介護サービスの事業所が近い	311ポイント

※ポイントの設定方法

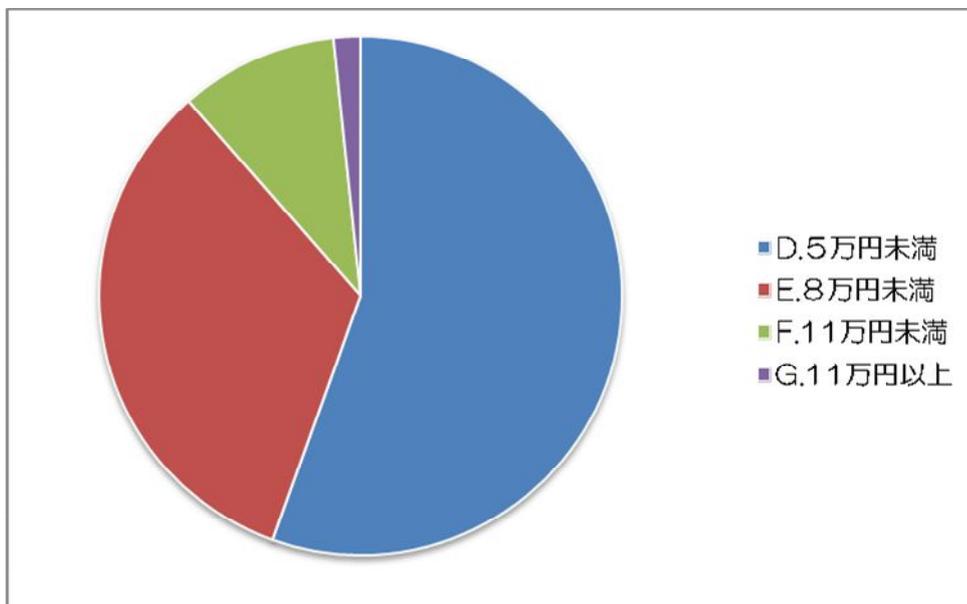
優先順位の1位に9ポイント、2位に4ポイント、3位に1ポイントとしてカウントし、集計を行いました。優先順位の価値づけを、2乗に比例するものとみなしてポイントを設定しています。

設問4 あなたが高齢者住宅に住む場合、どれくらいの費用負担が妥当だと考えますか？
(複数回答可)

購入の場合



賃貸の場合



3. クロス集計結果

今回のアンケートデータを回答者の基本データを基に、いくつかの類型に分けて集計（クロス集計）を行い、グラフ作成を進めました。類型は基本的に、年齢、性別、家族構成、介護経験を下記の表に従って二分し、それぞれの集計結果を求めました。作成されたグラフは、別紙②③の通りです。

回答者 住居形態

分類項目	Aグループ	Bグループ
年齢	10～60歳代	70代以上
性別	男性	女性
家族構成	一人暮らし世帯	それ以外の世帯
介護経験	あり	なし

4. 自由記述集計結果

個人が特定される可能性高い自由記述を除き、全ての回答を別紙④の通り掲載しました。回答を得た設問項目は、下表の通りです。

自由記述設問	記述を求めた内容
設問1	地域で暮らし続ける事についての理由
設問2	高齢者住宅へ移り住む理由、他
設問3	高齢者住宅に求める機能、他
設問5	理想の高齢者住宅像、その他、質問について

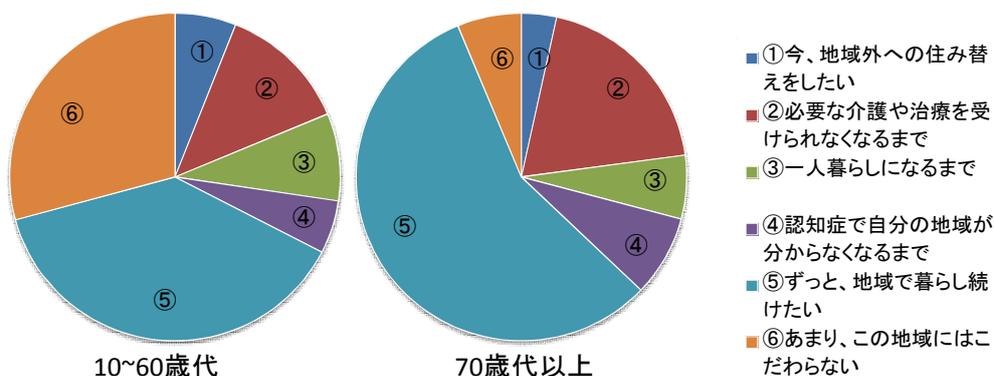
5. 今回のアンケートの考察から得られた結論

地域で暮らし続けることへの思いは、世代間で大きなギャップがある

有効回答の概ね75%の方々が、地域で暮らし続ける事を望まれている一方、25%の方々は、暮らす地域にこだわらないという回答でした。下のグラフでは、年齢層が上がるにつれて、急激に地域で暮らし続ける事を希望される方が増える事を示しています。これらの世代間のギャップは、世代間の思いの違いを相互に理解し合う事への大きな障壁を意味します。「皆が地域で暮らし続ける事を支え合うまちづくり」に向けての大きな課題と考えます。

このデータは地域で暮らし続ける事を望む思いを、世代間で共有する必要があることを示しています。高齢者は、自分の暮らす場についての意志を、周囲の家族に早めにかつ明確に伝えておく必要があると言えます。高齢者住宅への早めの住み替えも、このような意志の表れとも考えられます。

いつまで地域で暮らすことを希望しますか？



高齢者住宅整備は、豊能町地域で強く求められている

今回のアンケートの集計数は、目標値の333件を大幅に超える結果となりました。これは、ひとえに地域住民の中で、高齢者住宅に関する関心の高さを如実に示すものと考えられます。また、今すぐ住み替えを検討されている方が473名中22名の方がおられ、地域住民にとって、高齢者住宅が豊能町内に存在しないことは喫緊の切実な問題であることがわかりました。今回のアンケートは簡易なものではありますが、「地域で暮らし続ける場」の構築にとって、高齢者住宅は必要不可欠なものであることが明らかとなりました。

高齢者住宅の利用に至る理由は、人によってバラバラである

高齢者住宅を利用するに至る理由についての設問の答えは、どの回答についても大きく偏ることなく、一様に分布する傾向が見られました。これらのことから、高齢者住宅についての整備は、様々な利用者の利用目的（配偶者の介護、一人暮らし、早めの住み替えなど）に耐えうる多目的なものにすることが求められている事がわかりました。

また、高齢者住宅に住む形式については、賃貸方式を求める声が大いことが分かりました。低予算を求める声が大勢を占める一方で、高齢者住宅に高い機能を求めることを理由に、ある程度の負担を覚悟される声も一定数ありました。

社会や地域との関係性を保てる機能が、高齢者住宅には必須

高齢者住宅に求められる機能として、圧倒的に「日用品の買い物ができる場」を求める声が大きかったと言えます。これは、介護が必要になっても、社会や地域とのつながりを大切にしたいという思いから来るものであると考えます。自由記述の欄には、「家族」とのつながりについても、高齢者住宅の機能に加えることを求める声もありました。

男性の回答では、女性の回答と比べて、社会へのつながりよりも、住む部屋の機能を重視する傾向がみられました。このことから、男性高齢者が社会に溶け込みやすい工夫が、高齢者住宅を整備する上での成功要因となりうると考えます。

高齢者住宅に求める機能（全体）

1位	①日用品の買い物をできる場所が近い
2位	⑤かかりつけの病院が近い
3位	⑧住む部屋が充実している

かかりつけ医や介護事業所との距離が現実的な問題

60歳以下の世代の地域住民が高齢者住宅に求める機能には、「医療」を求める声が非常に大きかった一方で、70代以上の高齢者では、「介護事業所」を、自宅の近隣に求める声が大い事が明確となりました。

近隣の介護事業所の存在が、高齢者に地域で暮らし続ける安心感を与えることから、介護の場が地域から分離されるのではなく、住宅地での立地といった地域に根ざしたものでなくてはならないことが伺えました。

高齢者住宅に求める機能（10～60歳代）

1位	①日用品の買い物をできる場所が近い
2位	⑤かかりつけの病院が近い
3位	⑧住む部屋が充実している

高齢者住宅に求める機能（70歳代以上）

1位	①日用品の買い物をできる場所が近い
2位	⑤かかりつけの病院が近い
3位	②介護サービスの事業所が近い

6. 最後に

今回のアンケート作成や集計においては、高齢者住宅開発プロジェクトのメンバーをはじめ祥雲館カフェのメンバーの方々といった大阪府豊能町の地域住民の方々のお力添えを頂き、進める事ができました。当法人では、この基本データは、地域住民の貴重な財産と考えることから、可能な限りデータの公開を進めます。このデータが多くの方々によって、さらに活用され、高齢者が地域で暮らし続ける事が可能な町づくりが一步でも進めばと考えております。データ提供の希望がありましたら、下記の集計責任者までお問い合わせ下さい。

本アンケートは、単なるマーケティング活動ではなく、高齢者が地域で暮らし続ける場の大切さについて、皆が考え、その思いを共有することも目的の一つとして加えています。今回のアンケートの回答数からも、改めて高齢者住宅の必要性を感じるとともに、町ぐるみで育てる高齢者住宅の可能性を示唆するものでもあると考えます。ご協力頂いた回答者への感謝とともに、「高齢者が地域で暮らし続けられる」町づくりをも、今後の当法人の使命として加えていきたいと考えます。

集計責任者 問合せ先

社会福祉法人 桃林会 祥雲館

経営企画室 園田裕紹

メールアドレス info@syownkan.jp

電話 072-733-2301